



27 栄 産 第 189 号
平 成 27 年 8 月 6 日

長野財務事務所長 殿

栄村長 島田 茂樹 印

財政健全化計画等執行状況報告書

以下の財政健全化計画等の執行状況について、別紙のとおり報告します。

☐ 財政健全化計画

☒ 公営企業経営健全化計画

☒ 上水道事業 (簡易水道事業)

☐ 工業用水道事業

☐ 都市高速鉄道事業

☐ 下水道事業 ()

☐ 病院事業

担当課：産業建設課

職名及び氏名：主事 関谷和仁

連絡先：0269-87-3113

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	長野県栄村	会計名	簡易水道会計	団体担当者	関谷和仁
承認年度	平成24年度				

2. 判定結果

(単位:千円、%)

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			当初計画最終年度目標値(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	目標値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 改善額	14,500	20,400	5,900	7,800	12,600	a
④ 公営企業債現在高	374,000	362,977	11,023	474,000	111,023	a
⑤ 累積欠損金比率						
総合判定						a

3. その他

(i)計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成25年 1月 公表	(☒ HP) 広報紙・その他 【	】)
執行状況:平成27年 3月 公表	(☒ HP) 広報紙・その他 【	】)

(ii)計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成24年12月 説明
執行状況:平成27年 3月 説明

類型	a
----	---

(单位:千万円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	900	900	900	5,900	5,900	14,500	7,800
実績(見込)値(B)	1,200	1,200	6,200	5,900	5,900	20,400	
乖離値(C) (B－A)	300.0	300.0	5,300.0	0.0	0.0	5,900.0	12,600.0
乖離率(D) (C／A)	33.3%	33.3%	588.9%	0.0%	0.0%	40.7%	161.5%

[illegible]

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

類型	a
----	---

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計画最終年度 (平成28年度)	当初計画 最終年度目標値
計画目標値(A)	463,000	434,000	433,000	403,000	374,000	474,000
実績(見込)値(B)	476,032	447,221	425,087	395,229	362,977	
乖離値(C) (A－B)	▲ 13,032	▲ 13,221	7,913	7,771	11,023	111,023
乖離率(D) (C/A)	▲ 2.8%	▲ 3.0%	1.8%	1.9%	2.9%	23.4%

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない 事情
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
合計	-	-	-	-	-			
うち、やむを得ない事情	-	-	-	-	-			

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

・平成25年度実績については、平成24年度に平滝地区及び横倉地区の水源確保事業を緊急実施したため、11.7百万円の借入を行った事により、目標を達成する事ができていない。尚、平成24年度に平滝地区及び横倉地区の水源確保事業は、いずれも健全化計画の承認後、平成24年12月18日に事業が決定したものである。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

・平滝地区簡易水道の配水管漏水事故が多発しており、地元地区からの改修要望が強いため、昨年度村道改修工事に併せて200mを布設替を実施する事とした。これにより、8百万円の地方債借入が生じ企業債現在高が計画を上回ってしまう事から、当初平成26年度に計画していた青倉地区簡易水道配水池の新築工事を、平成29年度に見送り、計画目標値を達成する見込みである。

・また、森地区簡易水道施設において、水質マンガン値が水質基準は満たすものの高い値である事から、「トイレのタンクが茶色になる」「洗濯物が茶色になる」等の苦情が寄せられている。水源に近い地域ほど成分値が高いようで、住民説明も実施したが苦情が絶えず大きな問題となっている。

このため、平成26年度、マンガン除去装置の設置と新規井戸の掘削を検討した結果、マンガン除去装置を設置した場合のランニングコストを考慮し新規井戸の掘削を行った。新規井戸の水質検査の結果及び水量が適正であったことから、平成27年度、新規井戸から配水池への導水管布設工事を実施予定。また、現在使用中の井戸については、水質基準を満たしている事から、予備水源として緊急時に使用できる状態に管理する。

(v)改善方針の進捗状況